

カリキュラム区分		5カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M310	1年	後期	医療技術科学	選択	感染制御学演習 Seminar on Infection Control and Disease Prevention	60	2
担当教員								
美間 健彦								
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。							
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。							
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
<input type="radio"/>	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。							
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
授業目的								
感染制御学特論で学習した内容に沿った英語の学術論文を各自が調査して分析する。抗菌薬に対する薬剤耐性因子・薬剤耐性機構および分子疫学調査の方法などについて考察し、最新の研究手法や研究成果などについて発表することを通して感染制御に関する知識を深める。さらに医療現場において感染制御についての問題点を解決する方法を提案できる能力を養い、臨床検査室における感染制御のリーダーとなる能力を養う。								
到達目標（授業目標）								
① 感染制御に関する英語の学術論文を読解する能力を修得する。								
② 読解した学術論文の内容を他者に説明する能力を修得する。								
③ 学術論文の読解により、感染制御に関する最新の研究手法や研究成果などの知識を修得する。								
④ 学術論文の読解から新たな問題点を発見し、それを解決する方法を提案する能力を修得する。								
回								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	病院内感染の動向：病院内感染に関する近年の動向と研究の方向性について討論する。							
2回	病院内感染を起こす微生物（1）：近年話題の病院内感染を起こす微生物に関する論文を読解し討論する。							
3回	病院内感染を起こす微生物（2）：近年話題の病院内感染を起こす微生物に関する論文を読解し討論する。							
4回	病院内感染を起こす微生物（3）：近年話題の病院内感染を起こす微生物に関する論文を読解し討論する。							

5回	病院内感染を起こす微生物（４）：近年話題の病院内感染を起こす微生物に関する論文を読解し討論する。
6回	病院内感染を起こす微生物（５）：近年話題の病院内感染を起こす微生物に関する論文を読解し討論する。
7回	病原性遺伝子（１）：病院内感染の原因微生物における病原性遺伝子に関する論文を読解し討論する。
8回	病原性遺伝子（２）：病院内感染の原因微生物における病原性遺伝子に関する論文を読解し討論する。
9回	病原性遺伝子（３）：病院内感染の原因微生物における病原性遺伝子に関する論文を読解し討論する。
10回	病原性遺伝子（４）：病院内感染の原因微生物における病原性遺伝子に関する論文を読解し討論する。
11回	薬剤耐性遺伝子と耐性機構（１）：抗微生物薬剤に対する低感受性および耐性菌、多剤耐性菌の耐性遺伝子に関する論文を読解し討論する。
12回	薬剤耐性遺伝子と耐性機構（２）：抗微生物薬剤に対する低感受性および耐性菌、多剤耐性菌の耐性遺伝子に関する論文を読解し討論する。
13回	薬剤耐性遺伝子と耐性機構（３）：抗微生物薬剤に対する低感受性および耐性菌、多剤耐性菌の耐性遺伝子に関する論文を読解し討論する。
14回	薬剤耐性遺伝子と耐性機構（４）：抗微生物薬剤に対する低感受性および耐性菌、多剤耐性菌の耐性遺伝子に関する論文を読解し討論する。
15回	カテーテル関連の血流・尿路感染症（１）：カテーテル関連の血流・尿路感染症に関する論文を読解し討論する。
16回	カテーテル関連の血流・尿路感染症（２）：カテーテル関連の血流・尿路感染症に関する論文を読解し討論する。
17回	カテーテル関連の血流・尿路感染症（３）：カテーテル関連の血流・尿路感染症に関する論文を読解し討論する。
18回	カテーテル関連の血流・尿路感染症（４）：カテーテル関連の血流・尿路感染症に関する論文を読解し討論する。
19回	薬剤耐性菌の迅速検査法・遺伝子学的検査法（１）：薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法に関する論文を読解し討論する。
20回	薬剤耐性菌の迅速検査法・遺伝子学的検査法（２）：薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法に関する論文を読解し討論する。
21回	薬剤耐性菌の迅速検査法・遺伝子学的検査法（３）：薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法に関する論文を読解し討論する。
22回	薬剤耐性菌の迅速検査法・遺伝子学的検査法（４）：薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法に関する論文を読解し討論する。
23回	薬剤耐性菌の迅速検査法・遺伝子学的検査法（５）：薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法に関する論文を読解し討論する。
24回	薬剤耐性菌の迅速検査法・遺伝子学的検査法（６）：薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法に関する論文を読解し討論する。
25回	疫学調査方法（１）：施設内感染における分子疫学マーカーによる発生源の疫学調査方法に関する論文を読解し討論する。
26回	疫学調査方法（２）：施設内感染における分子疫学マーカーによる発生源の疫学調査方法に関する論文を読解し討論する。
27回	疫学調査方法（３）：施設内感染における分子疫学マーカーによる発生源の疫学調査方法に関する論文を読解し討論する。
28回	疫学調査方法（４）：施設内感染における分子疫学マーカーによる発生源の疫学調査方法に関する論文を読解し討論する。
29回	まとめ（１）：感染制御に関する研究課題をまとめ、研究の方向性について討論する。
30回	まとめ（２）：感染制御に関する研究課題をまとめ、研究の方向性について討論する。

成績評価方法及び基準

口頭試問(50%)およびレポート(50%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	
参考図書等	Journal of Clinical Microbiology, Journal of Bacteriology, Journal of Hospital Infection, Journal of Infectious Diseasesなどの欧米の科学雑誌の論文を参考にする。

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

前回の項目について配布プリントおよび参考図書・文献等を参考に復習する。次回の項目について参考図書・文献等を参考に予習する。

関連科目

前科目	M301 臨床検査技術学特論	M304 感染症学特論	M309 感染制御学特論	M311 感染症学演習			
後科目	M322 特別研究Ⅰ	M323 特別研究Ⅱ					

実務家教員

備考	
----	--